

分身ロボットを活用した 新たな働き方の支援事業 シンポジウム

事前予約不要・参加無料

日程 令和7年2月19日(水)

時間 13:00～17:00
(受付開始 12:30)

会場 イイノホール

東京都ではすべての方が、最大限自分が持つ力を活かすことができる働き方の実現を目指し、重度障害等がある方が分身ロボットを活用して「自分に合った働き方」に関するシンポジウムを開催いたします

きっとみつける！
多様な働き方



©OryLab Inc.

time schedule

▶ 第一部 13:00～13:45

—— 基調講演 ——

比較優位性の実現で
障害当事者を戦力に

慶應義塾大学商学部 教授
中島 隆信 氏

▶ 第二部 14:00～15:30

—— パネルディスカッション ——

自分らしく働くために
～分身ロボットを活用した
新たな働き方の支援事業の取組を踏まえて～

株式会社オリィ研究所 工藤 知己 氏
分身ロボット「パイロット」2名

▶ 第三部 15:50～16:50

—— 事例紹介 ——

分身ロボットを活用した民間企業の
取組事例の紹介

日本電信電話株式会社 総務部門
ダイバーシティ推進室 小野寺 淳子 氏
株式会社モスシャイン 代表取締役社長
秋山 真貴子 氏

手話通訳・車いす席あり・要約筆記（ノートテイク）



事業の詳細、
◀ シンポジウムのアーカイブ
配信についてはこちら

TOKYO 障害者雇用支援ポータル 🔍

東京都

▶ 第一部 13:00 ~ 13:45 基調講演

比較優位性の実現で障害当事者を戦力に

慶応義塾大学商学部 教授 中島 隆信氏

経済学の比較優位理論に基づけば、排除の論理は全体最適につながらない。人間の相対的に優れた部分を活かすための配慮は、その場限りの費用ではなく将来のリターンをもたらす投資となる。技術進歩の活用は、障害者の潜在能力を引き出し、比較優位性を実現するための第一歩となるだろう。



▶ 第二部 14:00 ~ 15:30 パネルディスカッション

自分らしく働くために

～分身ロボットを活用した新たな働き方の支援事業の取組を踏まえて～

ファシリテーター 慶応義塾大学商学部 教授 中島 隆信氏

パネラー 株式会社オリイ研究所 工藤 知己氏

「分身ロボットを活用した新たな働き方の支援事業」プロジェクトマネージャー

パネラー 分身ロボット「パイロット」2名

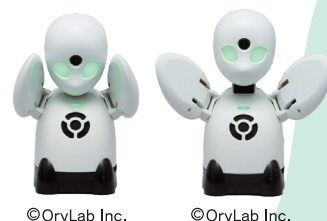


▶ 第三部 15:50 ~ 16:50 事例紹介

分身ロボットを活用した民間企業の取組事例の紹介

日本電信電話株式会社 総務部門 ダイバーシティ推進室 小野寺 淳子氏

株式会社モスシャイン 代表取締役社長 秋山 真貴子氏



©OryLab Inc.

©OryLab Inc.

分身ロボット 「OriHime」にお任せ！

分身ロボットがそれぞれの働き方を支援します。
「OriHime」にはカメラ・マイク・スピーカーが搭載されており、インターネットを介して、スマホやタブレット、PCなどから遠隔で操作します。置かれた場所の様子を見ながら、音声での会話はもちろん、首を上下左右に動かしたり手を挙げたりと、感情を表す簡単な動作も可能です。

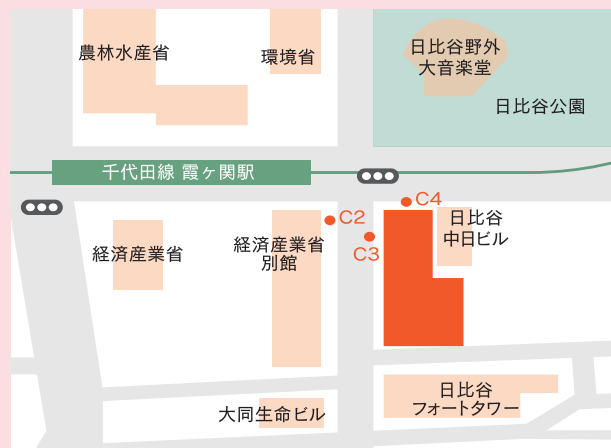
分身ロボットを活用した 新たな働き方の支援事業とは？！

東京都では、外出困難な重度障害のある方等が在宅から、分身ロボット「OriHime」を操作し、都庁展望室等において案内業務を行っています。



©OryLab Inc.

「OriHime」は株式会社オリイ研究所の登録商標です。



イイノホール

東京都千代田区内幸町 2-1-1 飯野ビルディング 4 階

[アクセス]

■ 東京メトロ 日比谷線・千代田線
「霞ヶ関」駅 C4 出口直結

お車で越しの方は、こちらをご覧ください。



公共交通機関で越しの方はこちらをご覧ください。



お問い合わせ

分身ロボットシンポジウム事務局

[電話] 050-1706-0445 [受付時間] 10:00 ~ 16:00 (土日祝を除く)

[メール] bunshinrobot-hataraku@his-world.com



印刷物登録番号
令和6年度第144号

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。